

平成20年度第4回理事会議事録

日時：平成20年4月28日(月)14:00～17:00
場所：学会事務所
出席：大友邦理事長、遠藤啓吾、片田和廣、栗林幸夫、甲田英一、田村正三、
中村仁信、早淵尚文、晴山雅人、本田 浩、松井 修、山田章吾理事
伊藤勝陽、井上登美夫監事
欠席：伊東久夫、金澤 右、杉村和朗、平岡真寛各理事

議題：

1. 前回議事録の承認
2. 第68回日本医学放射線学会総会について
3. 会計について
4. 20・21年度各種委員会担当理事と委員とについて
5. 新委員会案について
 - ・国際交流委員会
 - ・学会運営のあり方委員会
6. 専門医制度について
 - ・日本専門医認定制評価・認定機構との覚書
 - ・今年度修練機関・修練協力機関の受付について
7. 遠隔画像診断について（ACR意見書）
8. 胸部CT健診認定医・認定技師制度について
9. PACS, RIS電子カルテ満足度調査の件
10. 編集委員会での学会誌名変更について
11. 会告の承認

4月号 20・21年度役員、代議員

第68回日本医学放射線学会総会案内 I
日本医学放射線学会研究助成金制度の応募要領
第20回医学物理士認定試験のお知らせ
第47回日本医学放射線学会生物部会学術大会お知らせ

5月号 (予定)

第44回日本医学放射線学会秋季臨床大会案内 II
第22回胸部放射線研究会案内
第21回頭頸部放射線研究会案内
第21回電子情報研究会案内
第18回救急放射線研究会案内

12. その他

- ・第67回日本医学放射線学会総会報告

報告事項

1. 委員会報告

放射線防護委員会
将来計画委員会
保険委員会
倫理委員会
広報委員会
学術研究委員会
画像撮影委員会

2. その他

前期申し送り事項追加

議 事:

1. 前回議事録の承認

一部訂正を加え前回議事録(案)を承認した。

2. 第68回日本医学放射線学会総会について

山田会長より第68回総会準備状況の報告がなされた。会期は平成20年4月16日～19日、会場はパシフィコ横浜、で開催、会場は第67回総会時より一部屋大きな会場が追加されるとの報告がなされた。第1回実行委員会は5月開催予定。

3. 会計について

栗林会計理事より前回提出された19年度収支補正予算案の前期繰越収支差額に記載ミスがあったとの報告がなされた。これにより平成20年度学会収支予算前期繰越収支差額も変更となるが、他の項目については変わらない。

4. 20年21年度各種委員会担当理事と委員について

大友理事長より20・21年度委員会担当理事と各委員会委員長案について説明がなされ、下記の通り決定

20年21年度各種委員会委員

理事長	大友邦
第68回総会会長	山田章吾
第69回総会会長	杉村和朗
第44回秋季臨床大会長	宋戸文男
第45回秋季臨床大会長	佐藤守男
庶務理事	遠藤啓吾
会計担当理事	栗林幸夫
編集委員会担当理事	松井 修、伊東久夫
広報担当理事	片田和広、甲田英一
学術・研究委員会担当理事(含各種賞・研究助成、ガイドライン作成)	平岡真寛、杉村和朗、栗林幸夫
倫理委員会担当理事	山田章吾
医療事故防止委員会担当理事	田村正三、伊東久夫
放射線科専門医認定委員会担当理事	本田 浩、平岡真寛(治療)、田村正三(診断)
教育委員会担当理事	杉村和朗(診断)、晴山雅人(治療)
将来計画委員会担当理事	片田和広、早瀬尚文
国際渉外担当理事	杉村和朗(ASNA/AOSR)、松井修(AOSR)、田村正三(ECR)
保険委員会担当理事	遠藤啓吾、伊東久夫
放射線防護委員会担当理事	中村仁信
電子情報委員会担当理事	甲田英一
用語委員会担当理事	早瀬尚文、田村正三
医学物理士認定委員会担当理事	山田章吾
撮影委員会担当理事	甲田英一
学会史編纂担当理事(含名誉会員の会)	杉村和朗
生物部会担当理事	晴山雅夫
拡大IT化委員会担当理事	大友 邦、遠藤啓吾

監事

伊藤勝陽、井上登美夫

大会, 諸部会, 諸会議, 諸委員会等の担当

JRC理事	遠藤啓吾、大友 邦、中村仁信、松井 修、
放射線治療アドホック委員会	平岡真寛、山田章吾、早瀬尚文、伊東久夫
画像診断コンソーシアム	杉村和朗、本田 浩、遠藤啓吾
生物部会長	遠藤啓吾、栗林幸夫、大友 邦
日本医学会評議員	晴山雅人
日本医学会連絡委員	遠藤啓吾
日本医学会用語委員	大友 邦
同 代委員	早瀬尚文
日本医師会疑義解釈委員	田村正三
専門医認定制機構	古井 滋
医学放射線物理連絡協議会	本田 浩、平岡真寛、大友 邦
医用原子力研究振興財団線量計校正監理委員会委員	早瀬尚文 (議長)、伊東久夫
放射線防護連絡協議会	山田章吾、伊東久夫
	中村仁信

5. 新委員会案について

- ・国際交流委員会について、いままでは担当理事が中心となり海外との対応を行ってきたが、今後日本医学放射線学会としてどのように海外との交流活動を行うのかなどについて検討する委員会として国際交流委員会を立ち上げてはどうか、との提案がなされた。
- ・学会運営の在り方については、次回の理事会にて継続審議

6. 専門医制度について

- ① 大友理事長より4月14日に日本専門医制度・評価機構理事長と日本医学放射線学会理事長とでかわされた覚書について報告がなされた。今後はこの覚書に基づき専門医制度の整備作業を行うことを確認した。
- ② 本田担当理事より、上記決定事項により、今年度は新専門医制度規定にむけて作業を行うことから、今年度の修練機関、修練協力機関の新規申請は受け付けないことが了承された。

7. 遠隔画像診断について(ACR意見書)

遠隔画像診断について、日本医学放射線学会としてどのように対応するかAmerican College Radiologyから出されている意見書を参考資料に意見が交わされた。国内の遠隔診断については、専門医取得者であり、遠隔画像診断に関する講習会を受けたものに限るかどうか検討する、日本国外で行う遠隔画像診断については、行政当局と相談しながら検討することとした。

8. 胸部CT健診認定医・認定技師制度について

村田喜代史委員より、胸部CT健診認定医・認定技師制度検討委員会からの報告と検討事項についてなされた件について大友理事長より説明がなされた。理事会で検討後、1) 放射線科専門医(診断)をもっているものは胸部CT健診認定医として自動的に認められるかどうか、CT健診認定制度合同検討会と相談すること、2) 放射線技師の胸部CT健診認定技師制度の講習会に協力することとした。

9. PACS, RIS電子カルテ満足度調査の件

甲田担当理事より日本医学放射線学会修練機関を対象にPACS・RIS・電子カルテ満足度のアンケートを行いたいとの提案がなされ、資料を基に説明がなされた。理事会で検討後、これを了承、情報の取扱に注意することなどを確認した。

10. 編集委員会での学会誌・誌名変更について

松井担当理事より編集委員会、会員から学会誌・誌名“Radiation Medicine”について放射線治療や基礎放射線に特化した印象を与える、あるいはわかり難いといった意見が強くだされていること、また現在の学会誌への投稿論文の内容などから、

編集委員会から学会誌の誌名を放射線医学全体をグローバルにイメージできるものに変更すべきとの意見がだされた件について説明がなされ、理事会にて審議をおこなった。この件について、誌名を変更する件について、誌名案も含めを理事会、編集委員会双方で検討することとし、継続審議事項とした。

1 1. 会告の承認

4月号 20・21年度役員、代議員
第68回日本医学放射線学会総会案内 I
日本医学放射線学会研究助成金制度の応募要領
第20回医学物理士認定試験のお知らせ
第47回日本医学放射線学会生物部会学術大会お知らせ
5月号 (予定)
第44回日本医学放射線学会秋季臨床大会案内 II
第22回胸部放射線研究会案内
第21回頭頸部放射線研究会案内
第21回電子情報研究会案内
第18回救急放射線研究会案内

11. その他

・松井理事より第67回総会について、総会参加者数:4151名で、教育講演を中心に会場が満席のところがあったなどの報告がなされた。

報告事項

2. 委員会報告

・放射線防護委員会

IAEAからの患者の集積線量を記録するシステム開発の依頼について検討中であるとの報告があった。SPECT-CTガイドライン作成ワーキンググループを発足させ、活動を行ないたいとの提案があり、理事会にて了承された。

・将来計画委員会

新入会員へのアンケート調査について定期的に継続する。全会員対象の放射線科医の動向調査アンケートは4月末発送予定で進められている旨報告がなされた。

・保険委員会

平成20年度の診療報酬改訂および平成22年度診療報酬改訂にむけての活動方針について報告された。

・倫理委員会

日本医学放射線学会の倫理綱領を公表、疫学研究に関する倫理指針が19年8月に改正、全文を会員に周知することを決定した。

利益相反については秋季臨床大会のときにセッションを設ける予定

・広報委員会

ホームページの整備は庶務理事、学会事務局が行なう方向で検討。

広報委員会は外部への広報活動を中心とする（市民公開講座等）

・学術研究委員会

学会の学術・研究活動を高めるための活動を検討する。

賞の提案、総会時の発表、教育プログラムに研究に関するものを入れる等。

・画像撮影委員会

単純X線撮影のガイドラインが完成、学会ホームページに掲載予定。

胎児用CTに関する調査の提案について説明、内容は安全性、リスク、ベネフィット、撮影方法などについて調査する。以上理事会として了解された。

・電子情報委員会

1) 原画像保存について

行政当局が決めることであるが、現時点では診断に使用した情報を保存する。すべてのraw dataを保存する必要はない。以上理事会として了解された。

2) 歯科と医科の境界について

学会で主導的には決められませんので、各現場から行政当局に問い合わせをしていただく。

3) CDのDICOM情報変更について

読影保存に必要な最低限の変更は許容される。例えば患者番号情報など。以上理事会として了解された。

- IT化委員会

会員カードについて、ICカードあるいはバーコードカードなどによる、研修会参加管理が行える機能の実現にむけ検討中である。